

# 新技術講演会のご案内

## 『脱炭素対策のための焼成技術』

岐阜県産業技術総合センターでは、「モノづくり産業の技術支援拠点」を目指し、様々な産業・業界に対し、ニーズやシーズを踏まえた有望な新技術を紹介しています。

このたび、岐阜県の地場産業である石灰粉末の製造に関連した焼成炉操業でのCO<sub>2</sub>削減対策、そのための燃料転換などの取り組みについて、製紙工場を例に新技術を紹介します。これらの技術は、石灰業界のみならず、窯業・土石の業界、あるいは石灰を使用する土木やセメント業界等にも多いに参考になると思います。是非とも多くの方のご参加をお待ちしております。

|             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| ■ ■ 主 催 ■ ■ | 岐阜県産業技術総合センター                  |
| ■ ■ 日 時 ■ ■ | 令和6年3月8日（金） 13：30～15：00        |
| ■ ■ 参加費 ■ ■ | 無 料                            |
| ■ ■ 会 場 ■ ■ | 昼飯一区自治会館（岐阜県大垣市昼飯町字村北 1138 番地） |
| ■ ■ 対 象 ■ ■ | 岐阜県内事業者等                       |
| ■ ■ 内 容 ■ ■ |                                |

### 1. 主催者あいさつ

13：30～13：35

### 2. 講演

13：35～15：00

## 『石灰キルンにおけるCO<sub>2</sub>削減対策と燃料転換』

MIP コンサルタント事務所 代表 岩崎 誠 氏

生石灰の製造方法としては、掘削してきた石灰岩をキルンで焼成することによって得ることが一般的である。この石灰キルンでの燃料は、ハンドリング性や価格の観点から重油を使ってきたが、近年の燃料コストの上昇、さらに地球温暖化等が国際的な社会問題となっている。そこで、重油以外の非化石燃料、とりわけバイオマス由来の燃料が検討されてきた。本講演では、パルプを作る工程を簡単に紹介した後、演者がこれまで経験してきた燃料変遷とその課題、さらに、フィンランド紙パルプ技術研究センターで取り組んでいる電化キルンを用いた生石灰の製造技術とCO<sub>2</sub>削減対策についても解説する。

## ■ ■ 申し込み方法 ■ ■

次の二次元コードから必要事項を記入の上、お申し込みください。

二次元コードが読み取れない場合は、下記メールまでご連絡ください。

E-mail: [seminar\\_chemical@gitec.rd.pref.gifu.jp](mailto:seminar_chemical@gitec.rd.pref.gifu.jp) 宛先 化学部 茨木

申込期限：令和6年2月22日（木）

\* 申込み多数の場合は先着順(50名)とさせていただきます。(定員に達し次第、締め切らせていただきます。)



<https://logoform.jp/form/T8mB/483038>

## ■ ■ 問い合わせ ■ ■

岐阜県産業技術総合センター 化学部

茨木、藤田

TEL 0575-22-0147

〒501-3265 岐阜県関市小瀬 1288

FAX 0575-24-6976

**当センターが開催する講演会に参加される皆様へのお願い**

○新型コロナウイルスの感染状況等により、予告なく講演会を中止・延期、もしくは開催内容の変更等を行うことがあります。その場合には、速やかにホームページ・メール等でお知らせします。

○風邪症状（発熱、咳、鼻水、喉の痛みなど）がある方の来場はご遠慮いただきます。また、受講当日は、受付におきまして体表面温度の計測をさせていただき、計測の結果、37.5℃以上の発熱が確認された場合には、その方の受講をお断りいたします。

○受講当日は、講演中のマスクの着用、手指消毒の励行、身体的距離の確保など、基本的な感染予防対策にご協力をお願いします。